

## 平成 30 年度 米・ハワイ短期留学プログラム 感想

### B類 英語専攻 1年生

私がこのプログラムに参加したきっかけは、ハワイという多文化であると思われるところで自分が様々な体験をすることで教師になった際に、文化的なことも教えることのできる教師になりたいと思ったからです。また、私は帰国子女の多くいる学校で働きたいと考えています。そのため、海外で日本語を学ぶ児童や生徒がどのように日本語を学んでいるのかを知りたくて参加しました。

プログラムの目標を達成するために、私はまず楽しんで見学したり、体験したりすることを心がけました。それは、そうした方が生徒に伝える時に分かりやすく興味深い話をできるのではないかと思ったからです。また、ハワイ大学の日本語クラブに行った時には、日本語を学んでいる学生と日本語で会話することで、学生たちの日本語を勉強して話そうとする姿勢を感じ取りました。

このプログラムを通して、私が学んだことは3つあります。1つ目は、教育の多様性です。ハワイには日本にない、先生が自分の得意な分野のクラスを開講し、そこに児童が選んで受講するという授業がありました。自分の好きなことをすることで児童も真剣に授業に取り組むことができ、楽しそうでした。限られた授業時間の中でそのような活動を取り入れて、児童・生徒に楽しんでもらえる授業にするかを考えていかなければならないと思いました。2つ目は、日本にいて本などで学ぶよりもやはり、実際に見たり、聞いたり、体験したりする方が、深い知識を得られるということに気がきました。このプログラムでは、文化センターに行ったり、ハワイ在住の人と交流したりする機会が多くありました。文化センターでは、解説を聞きながら展示品をながめることで、ハワイに最初に移住して今の日本人の地位を築き上げたすごさを感じました。また、日本語と英語の両方で展示されているところでは、日本語でそのように訳されるのかと言語の面でも学習することができました。ムラタ家を訪問した際には、ハワイの料理を食べながら、ハワイに住む方々とお話することができました。ハワイの料理は、健康的なものが多いように感じました。そして、日系の方々と話して、日本人とは違う考え方を学ぶこともできました。このように、日本にいと、話すことができない人と話したり、普段は見ることのできない展示品を見たりすることで、多くの気付きがありました。最後に、ハワイには多種多様な人々が共存していることを感じました。日本人が来ると、日本語で話しかけたり、中国人が来ると中国語で話しかけたりと、いろいろな人がいるからこそその対応の充実さに驚きました。また、日系人が多くいるからなのか、スーパーマーケットに行くと、たくさんの日本の商品が目に入りました。

このプログラムを通して、日本ではしていないような外国の教育について興味を持ちました。色々な教育現場を見ることで生徒が勉強することが楽しいと思えるような授業を提供できれば良いなと思いました。たくさんの心に残る体験をありがとうございました。